

JISA 経営セミナー(第 3 回)

「AWS のクラウドがもたらす新たな社会環境とビジネス環境」開催 経営層はクラウド時代に何を考え、何を準備すべきか？

平成 29 年 3 月 7 日、全国情報サービス産業厚生年金基金会館(JJK 会館)において、JISA 経営セミナー(第 3 回)「AWS のクラウドがもたらす新たな社会環境とビジネス環境」が開催された。出席者は 126 名。講師は今野芳弘氏(アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社(AWS) パートナーアライアンス本部 本部長)。



今野氏は、イノベーション企業であるアマゾンの新たな取組を紹介した後、アマゾンの競争力の一つである AWS の導入事例やトレンドに触れつつ、クラウドの導入が加速している現状や背景を AWS クラウドの利点や特徴とともに概説した。また、既存システムをクラウドに移行する際の「クラウドジャーニー」やパートナー企業を増やし、エコシステムを充実させることによって顧客に多様な選択を可能にさせる仕組みも紹介した。講演では、IT とデジタルの二つのトランスフォーメーションが起こる背景や IoT で

利用される代表的な AWS サービス等も説明された。

今野氏は、講演の最後に、AWS の成長を支えるアマゾンのカルチャーについて語った。顧客中心思考であり、「コスト制約が一つのイノベーションを生むこと」「スケールにこだわること」等は基本的な考え方である。また、14 の OLP(Our Leadership Principles ; 行動規範・信条)で構成され、採用と評価でもこれが徹底的に活用されている。DevOps という開発手法やそれを生かす Two-Pizza teams(少人数チーム)で構成された組織で開発スピードを上げている。さらに、製品やサービスの開発前にプレスリリース等を考えることで顧客視点を徹底させること、6pager(6 枚のレポートで行う意思決定の手法)等も参加者の関心を集めた。



(茂木)